

カナダハウスでは**1・2年生は二人部屋で生活します**。上級生や留学生との二人部屋を通して、一人暮らしでは得られない様々なことを学ぶことが出来ます。大学での勉強から、生活していく上での術、その国々の地域や文化、相手を思いやる心、また恋愛など様々なことが同じ部屋に住む人と語り合うことで、時にはばつかりながらもお互いが深い対話を通して理解し合い、兄弟や友を超えた関係が作り上げられることと思います。実際に私が同じ部屋に住んだ学生らとは部屋を出た今でも夜明けまで語り合うことがあります。この様な経験を通して自然と自分から意見を言えるようになり、また他の意見に耳を傾ける力が磨かれます。二人部屋で得られる経験は一生の宝物になると思います。

<イベント>

カナダハウスでは寮生の繋がりを強くする寮の交流イベントが多く催されます。新入生が入学する4月と9月の初めには「**花見**」と「**月見**」と呼ばれる他寮との交流会が行われ、そこで新入生は周りに認められていくことになります。そのほかにも寮祭など他寮も含めた寮全体で大きなイベントを行い、他寮生同士との繋がりも強め、クラスメートや部活以外でも多くの仲間を大学で作れることも寮生の大きな魅力の一つです。

また、カナダハウスにはそれぞれの個性を發揮でき、さらにその力を伸ばすことができる様々なイベントが用意されています。例えばスポーツが得意な人には「**岡田杯**」という男子寮生対抗のサッカー大会が春学期、冬学期に行われます。カナダハウスの良い特徴の一つとして、サッカーが得意でない人、運動が苦手な人でも参加できるよう練習を設け、全員が一致団結できる雰囲気を作れていることがあげられます。また、歌が好きな人には「**キャロリング**」という他寮をクリスマスの歌を歌いながら回るイベントがクリスマスの時期に催されます。

このように誰もが自分の才能と個性を發揮できる場がある、これこそがカナダハウスなのです。

<設備>

カナダハウスに住むメリットはなんといってもその立地です。**授業の行われる校舎までは徒歩4分、図書館までは徒歩3分、食堂までは徒歩1分**と、不動産の物件紹介のようになってしまっていますがこのような好物件で何も困ることはありません。近いというメリットのほかにも、ICUの学内の四季を一年中楽しめる環境での生活は格別です。

寮の中に目を向けてみましょう。共同キッチンにはIHクッキングヒーターやトースター、オーブンレンジなどがあり、自炊をする学生も多くいます。お風呂には4つのシャワーと大きなバスタブがあり、ゆっくりお風呂につかりながら語り合うことはカナダハウスでしかできない経験です。また洗濯機2台と乾燥機があり、屋上では洗濯物を干すことも出来ます。そのほかにも**スタディールーム**という勉強専用の部屋があり、そこにはインターネット回線（もちろん各部屋にもあります）や共有のプリンターが一台置かれています。スタディールームには様々な授業の教科書や文献が置いてあり、その場で先輩から勉強を教えてもらったり、グループワークで研究を進めたりする場が設けられており、一人暮らしでは得られないメリットがこの場所にはあります。

最後になりますが、カナダハウスには今でも卒業生や以前の留学生らが国内外を問わず遊びに来られます。近年行われた50周年記念式典では多くのOBが来寮され、「カナダハウスでの生活が一番の思い出」と述べられたり、「大学の4年間をカナダハウスで過ごしたからこそ今の自分がある」と仰っていました。私にとってもカナダハウスは自分のアイデンティティーの一つであり、誇りに思います。カナダハウスがあるからこそ今の自分があるのだと自信を持って言えます。自由と責任の下、挑戦し、学び、そして成長する機会が与えられたカナダハウスこそ新たな自分の“家”となっています。

人と人との繋がりが問題視されている現代で**同じ屋根の下、必然とも偶然とも言えず揃う30余りの男子学生らとの共同生活はかけがえのない経験**となります。皆さんもこのカナダハウスで4年間を過ごしてみませんか？きっと一人暮らしや実家暮らし、また他の寮では味わうことのない学生生活が待っています。4月に皆さんがカナダハウスの新しい兄弟の一員として加わることを切に願います。またこの紹介文が皆さんの寮選びの助けとなっていたなら幸いです。皆さんがじっくりと考えられ、自分に合った寮を選ばれることを祈っています。

カナダハウス 元寮長

卒業生 伊佐山 鷺